

# 進路だより

令和5年1月23日  
大阪府立守口支援学校  
進路指導部発行第2号  
4学内第212号

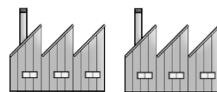
日頃より、進路指導部の活動にご理解とご協力いただきまして感謝申し上げます。  
今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を続けながら多くの行事を実施いたしました。  
今後も、個別の進路指導については、担任と連携のもと懇談等を通じて児童生徒と保護者の願いをふまえてすすめていきます。

## 【秋のPTA施設見学会】

春のPTA施設見学会では、就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護の事業所を中心に8か所の事業所の見学を行いました。秋の施設見学会では、2か所の就労移行支援事業所を見学することができました。

○11月15日（火）門真市にある「J S N門真」様 11名

○11月16日（水）門真市にある「クローバー」様 4名



事業所の特色や活動内容についての説明、施設や利用者様の活動の見学、質疑応答の時間を通して、事業所ごとに特色や活動内容の違いを感じることができました。

「J S N門真」様では『就労移行（2年）後の進路について』をテーマに「J S N門真」様の事例を含めて講話を20分にわたりしていただきました。質疑応答の時間では、多くの質問がでるなど深い学びにつながったと思います。

「事業所や学校、ご家庭も大切にしているものは同じ。それぞれの支援が線で結び付けば。」と講話を締めくくられました。

参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

### ～保護者アンケートより～

- ・就労移行支援について、とても分かりやすく説明をしていただきました。支援においての大切な事柄を確立されていて、スタッフさんの熱意を感じました。（J S N門真）
- ・とても丁寧な説明と事業所の雰囲気、何よりスタッフさんの想いが温かく、しっかりとした考えのもとサポートをして下さることが伝わりました。就職に向けて不安がある中で、しっかり相談に乗ってもらえる事業所があるということは、とても心強く安心して踏み出すことができると思います。見学に参加できてよかったと思います。ありがとうございました。（J S N門真）
- ・就労移行の次は就職ということだけではなく、将来に向けて何が大事かを気づかせてくれる事業所だと感じました。将来に向けて親も子どもも不安を抱えながらもなんとなく進むのではなく、想いを持って下さる事業所でじっくり学ぶことができることがわかりました。見学に行けてよかったです。ありがとうございました。（クローバー）

## 【高等部 後期現場体験実習】

10月17日（月）から28日（金）は後期現場・体験実習期間でした。生徒の実情に応じて1日から10日間、福祉事業所や企業へ実習に行きました。



2年生の福祉施設実習では、今回の実習が初めての生徒も多く、少し緊張しながらの実習でしたが、みんな製品づくりなど実際に作業所で行う仕事に触れることができ、作業所の雰囲気を感じることができました。企業実習では、2週間続けて実習に行きました。普段の職場実習より遠くの企業に実習に行く生徒や初めて2週間続けて実習に行く生徒も、この実習を通して自信をつけることができました。

3年生は、卒業後に働く予定の福祉事業所や企業に実習に行きました。福祉事業所では、スタッフの方から苦手なところは支援を受けながら作業したり、自分でできるところは確認をとりながら作業をしたりと、働くことを意識して実習に取り組むことができていました。企業では、任された作業の効率を考えて作業したり、お客様の対応をしたりと働くことの大変さを感じながらも意欲をもって実習に取り組むことができました。

## 【施設見学】

高等部1年生は、後期実習期間中の10月18日に施設見学に行ってきました。2班に分かれて、企業や福祉事業所に見学へ行きました。初めて企業や福祉事業所の見学をする人もいて、ドキドキしながらの事業所見学でした。

【牧野精工株式会社】では、第一工場と第四工場の見学をしました。各工場の見学では、実際に製品を触らせてもらったり、大きな機械を間近で見せてもらったりしました。また、各作業について説明を聞きました。生徒が自分から積極的にスタッフの方に質問する場面も見られました。

【グレース工房（B型）】では、百円均一商品の袋詰めをされている様子やゴディバのチョコレートを入れる箱を作られている様子を見学しました。利用者さんが集中して作業をされている所を実際に見せていただいて、働くイメージを持つことができました。

【GOODY 大日（B型）】では、百円均一のコップの袋詰めをされていました。生徒たちは作業の様子を集中して見ていました。実際の仕事を目の当たりにして、働くイメージを持つことができました。

振り返り学習では、各グループが見学先で見学した作業や感想をお互いに伝え合いました。分かったことや感じたことをたくさん伝え合うことができ、お互いに良い刺激になっていました。生徒の進路についてもっと知りたいという気持ちが伝わり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

## 【中学部 進路学習】



### 『中3 シャープ特選工業(株) 出前授業』

12月9日、シャープ特選工業(株)の出前授業を実施しました。シャープ特選工業の社員の方が来校してくださり直接の授業で生徒は緊張した様子でした。「働くということ」をテーマに、①会社での1日②仕事の内容について説明を受けました。「何のために働くのか?」という質問に対して「自立がしたい。」「感謝されたい。」「人の役にたちたい。」などの意見もでました。そのためには、「あいさつ」「規則正しい生活」「礼儀やマナー」の重要性を教えてくださいました。今後、社会人となっていく上でたいへん充実した時間になりました。



### 『中3 寝屋川支援学校中学部との交流会』



12月2日、寝屋川支援学校の中学部3年生との交流会がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響でリモートでの交流会になるかと懸念されましたが無事に寝屋川支援学校との交流会を実施することができました。

全体で挨拶を行い、次に4つのグループに分かれてモルックの試合をしました。各グループは守口支援学校中3生徒と寝屋川支援学校中3生徒の混合チームです。グループ内で自己紹介をしたのち、4チームの総当たり戦で試合が始まりました。

両校生徒が話し合って投げる順番を決めたり、どこを狙って倒せば高得点になるか協力しながら作戦をたてたりしました。高得点が出ると両校生徒が、お互いに拍手や歓声をあげて楽しく競技に参加することができました。

来年度の進学に向けて、実際に顔を合わせて話もでき、しっかり関わりを深めることができた交流会でした。



### 『中3 守口支援学校高等部見学・授業体験』



10月7日に守口支援学校高等部授業見学・体験を行いました。

高等部1年生から3年生までの授業を見学した後、木工、紙工、縫製、窯業、クリーニング班に分かれて実際に授業に参加させていただきました。少し緊張しながらも、高等部の先生の話聞いてそれぞれのペースで作業に取り組むことができました。「うまくできて楽しかった」「緊張した」「わかりやすく教えてもらってよかった」「高等部でもがんばりたい」など、様々な感想がありました。

## 【就労支援研修（I）について】

就労支援研修（I）が、11月9日に実施されました。参加は生徒4名と保護者4名でした。本研修は大阪府教育庁主催の研修で、今回は昨年度同様にオンラインでの実施となりました。

セブンイレブン・ジャパンの方から、就労する上で必要な力についてのクイズや、あいさつのやり方を教えていただきました。生徒たちはみんな、セブンイレブンの従業員のよう、大きな声で「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」と言うことができていました。



### 【もりもりギフト 2022 ふゆ】

「もりもりギフト」は守口市内の福祉事業所で働く利用者さんが、心をこめて制作している品々です。今年度は金曜日の午後に商品が入荷することとなり、商品の受け渡しは後日になるご家庭もあり、お手数おかけいたしました。保護者の方にはたくさんのご注文をいただきました。注文数119個、約116,800円の購入をしていただきました。ご協力ありがとうございました。

## 【令和4年度進路相談会について】

昨年度及び一昨年度に高等部を卒業した卒業生を対象に、進路相談会を実施しました。7家庭、計14名の方が参加されました。

進路相談会は今年度初めて実施する取り組みでした。「生活の困りごと、進路先での活動（仕事）の近況報告、思い出話など、短い時間ではありましたが旧担任の先生と久しぶりにお会いすることができて良かったです。」と参加された方から感想をいただきました。



このQRコード読み取りで  
「守口支援学校」のホーム  
ページを開くURLを示します